
平成 26 年 新年のご挨拶

日証協 平成 26 年 1 月 1 日

日本証券業協会
会長 稲野 和利

平成26年の新年を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、アベノミクスによる「第1の矢」大胆な金融政策、「第2の矢」機動的な財政政策が実行され、金融市場では大きく円安、株高が進みました。長く続いたデフレからの脱却の兆しに加え、企業業績に力強さが見受けられた年となりました。

今年は、「第3の矢」による政府の成長戦略が加速することで、本格的な経済再生が期待できる転換期とも言える年と考えます。

本協会といたしましても、家計から新規・成長企業へのリスクマネー供給の促進、強化を図るための施策などを進め、活力ある金融・資本市場を実現することにより、成長戦略に積極的に貢献していく所存です。

一方、活力ある金融・資本市場を実現するためには、個人投資家の裾野拡大が不可欠ですが、その大きな推進役として期待されているのが、この1月からスタートしたNISA（少額投資非課税制度）です。

NISAは、個人の自助努力に基づく家計の資産形成の支援・促進と経済成長に必要な成長マネーの供給拡大の両立を図ることを役割として期待されております。個人が豊かで幸せな生活を送るために、この「誰でも使える身近で便利な器」ができたことは、「貯蓄から投資へ」の流れを加速させるものと考えています。

本協会ではNISAが若年層を含めた国民各層による投資への参加を促し、中長期的な資産形成を支援するための制度として広く利用されるよう、その周知・広報活動を引き続き推進してまいります。また、NISAが、長期投資・資産形成に向けた制度として定着していくために、NISAの恒久化やジュニアNISAの導入など制度の拡充・利便性の向上に向けた働きかけを行ってまいります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催という明確な目標が定まり、消費者マインドの改善と共に今後はインフラ整備を始め様々な産業に大きな活力が生み出されていきます。我が国の明るい将来のため、本協会は、本年も引き続き、様々な事案への取組み等を通じ、経済の発展とそれを支えるための金融・資本市場の確立に貢献してまいりたいと考えております。

最後に、皆様方の益々のご発展、ご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

以 上